

**No title available****Publication number:** JP5271033**Publication date:** 1993-10-19**Inventor:****Applicant:****Classification:**

**- International:** **A61K8/19; A61K8/00; A61K8/20; A61K8/34; A61K8/92;  
A61K8/19; A61K8/00; A61K8/30; A61K8/92; (IPC1-7):  
A61K7/00**

**- European:****Application number:** JP19920068225 19920326**Priority number(s):** JP19920068225 19920326**Report a data error here****Abstract of JP5271033**

**PURPOSE:**To obtain a massaging cosmetic having high promoting effects on blood circulation, various excellent feelings in use and improved storage stability. **CONSTITUTION:**1-30wt.% nonionic surfactant having HLB  $\geq 10$  is blended based on the whole amount of cosmetic with 1-80wt.% polyhydric alcohol, 1-50wt.% oil component, 1-20wt.% water and 0.5-50wt.% granules of sodium chloride to give a massaging cosmetic.

---

Data supplied from the **esp@cenet** database - Worldwide

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平5-271033

(43) 公開日 平成5年(1993)10月19日

(51) Int.Cl. <sup>5</sup>	識別記号	片内整理番号	F I	技術表示箇所
A 6 1 K 7/00		B 9165-4C		
		W 9165-4C		

審査請求 未請求 請求項の数1 (全 4 頁)

(21) 出願番号	特願平4-68225	(71) 出願人	000106324 サンスター株式会社 大阪府高槻市朝日町3番1号
(22) 出願日	平成4年(1992)3月26日	(72) 発明者	今中 宏眞 大阪府高槻市上土室5-30-1 サンスター株式会社土室事業所内
		(72) 発明者	秋元 千代美 大阪府豊中市桜ノ町1丁目3-35
		(74) 代理人	弁理士 青山 葆 (外1名)

(54) 【発明の名称】 マッサージ化粧料

(57) 【要約】

【目的】 高い血行促進効果を有すると共に、様々な使用感に優れ、しかも保存安定性が良好なマッサージ化粧料を提供する。

【構成】 化粧料全量に対して1~30重量%のHLB10以上の非イオン界面活性剤、1~80重量%の多価アルコール、1~50重量%の油成分、1~20重量%の水、および0.5~50重量%の塩化ナトリウム粒状体を配合してなるマッサージ化粧料。

## 【特許請求の範囲】

【請求項1】 化粧品全量に対して1～30重量%のHLB10以上の非イオン界面活性剤、1～80重量%の多価アルコール、1～50重量%の油成分、1～20重量%の水、および0.5～50重量%の塩化ナトリウム粒状体を配合してなることを特徴とするマッサージ化粧品。

## 【発明の詳細な説明】

## 【0001】

【産業上の利用分野】本発明は、血行促進効果を有する 10  
マッサージ化粧品に関し、さらに詳しくは、様々な使用感に優れ、しかも保存安定性が良好なマッサージ化粧品に関する。

## 【0002】

【従来の技術】一般に、マッサージ化粧品とは、肌に塗布してマッサージすることにより、血行を促進し、皮膚の老化を防止すると共に、皮膚の老廃物を吸着・除去するものである。従来、マッサージ化粧品としては、例えば、スクラブ剤を配合することにより、古くなった角質などを取り除く効果を与えたものが提案されている(特 20  
開昭60-152407号公報、特開昭63-238008号公報、特開昭51-121530号公報、特開昭58-192814号公報など)。

【0003】また、無機塩が人体の代謝活動を活発にする作用があることから、例えば、無機結晶塩を配合するか、あるいは無機塩を化粧品中に溶解させてマッサージ効果を高めたマッサージ化粧品も提案されている(例えば、特開昭63-150216号公報、特開昭63-275508号公報、特開平3-123732号公報など)。 30  
さらに、グリセリンなどの多価アルコールを配合し、皮膚から発熱的に脱水・洗浄することにより、マッサージ効果を高めたものも提案されている(特開平3-123732号公報など)。

## 【0004】

【発明が解決しようとする課題】しかし、従来のマッサージ化粧品は、血行促進効果を有するにもかかわらず、べとつき易く、保湿性に乏しく、しかも洗い流しにくいなどの使用感上の欠点があった。また、例えば塩化ナトリウムなどの無機塩結晶を配合した場合には、時間が経つにつれて無機塩結晶が沈降するので保存安定性が悪く、製剤化が困難であるという問題点があった。 40

## 【0005】

【課題を解決するための手段】このような事情に鑑み、本発明者らは、上記従来のマッサージ化粧品の欠点や問題点を解決することを目的として、鋭意研究を重ねた結果、HLB10以上の非イオン界面活性剤、多価アルコール、油分、水および塩化ナトリウム粒状体を特定割合で配合することにより、高い血行促進効果を有すると共に、べとつきや洗い流し性などの使用感に優れ、しかも保存安定性の良好なマッサージ化粧品が得られることを 50

見出し、本発明を完成するに至った。

【0006】すなわち、本発明は、化粧品全量に対して1～30重量%のHLB10以上の非イオン界面活性剤、1～80重量%の多価アルコール、1～60重量%の油成分、1～20重量%の水、および0.5～50重量%の塩化ナトリウム粒状体を配合してなるマッサージ化粧品を提供するものである。

【0007】HLB10以上の非イオン界面活性剤としては、例えば、ポリオキシエチレンソルビタン脂肪酸エステル、ポリオキシエチレン硬化ヒマシ油、ポリグリセリン脂肪酸エステル、グリセリン脂肪酸エステルの酸化エチレン誘導体、プロピレングリコール脂肪酸エステルの酸化エチレン誘導体、ポリエチレングリコール脂肪酸エステル、ポリオキシエチレンアルキルエーテル、ポリオキシエチレンアルキルフェニルエーテルなどが挙げられる。これらの界面活性剤は単独または2種以上を組み合わせ、化粧品全量に対して1～30重量%、好ましくは1～20重量%の割合で配合される。配合量が1重量%より少ないと、保存安定性が悪く、逆に、配合量が30重量%より多いと、べたつき易いので、良好な使用感を与えない。

【0008】多価アルコールとしては、例えば、プロピレングリコール、1,3-ブチレングリコール、グリセリン、ジプロピレングリコール、ポリグリセリン、ソルビタン、グルコース、トレハロース、マルチトール、ポリエチレングリコールなどが挙げられ、特にプロピレングリコール、1,3-ブチレングリコール、グリセリンが好ましい。これらの多価アルコールは単独または2種以上を組み合わせ、化粧品全量に対して1～80重量%の割合で配合される。特に、20重量%以上の割合で配合すれば、使用時に温感を与えることができるので好ましい。配合量が1重量%より少ないと、保存安定性が悪くなり、逆に、配合量が80重量%より多いと、べたつき易いので、良好な使用感を与えない。

【0009】油成分は、化粧品や医薬品などに通常使用されるものでよく、例えば、炭化水素類、高級アルコール類、高級脂肪酸類、高級アルコールと高級脂肪酸のエステル類、動植物油脂、コレステロール脂肪酸エステル類などが挙げられる。これらの油成分は単独または2種以上を組み合わせ、化粧品全量に対して1～50重量%の割合で配合される。配合量が1重量%より少ないと、保存安定性が悪く、また保湿感が得られない。逆に、配合量が50重量%より多いと、洗い流し性が悪くなる。

【0010】水は化粧品全量に対して1～20重量%の割合で配合される。

【0011】塩化ナトリウム粒状体は、0.05～2.00mmの粒径を有するものが好適に用いられ、化粧品全量に対して0.5～50重量%の割合で配合される。なお、この塩化ナトリウム粒状体は、実質的に純粋な塩化

ナトリウムの結晶、または塩化ナトリウムを99%以上の割合で含有する食塩の結晶、あるいは特開平1-181762号で開示されている消炎剤や色素などを含有する塩化ナトリウムの結晶の形態であり、本発明で用いられる塩化ナトリウム粒状体は、上記粒状体を単独または2種以上組み合わせて配合してもよい。

【0012】本発明のマッサージ化粧料は常法に従って製造することができ、また、上記の必須成分に加えて、化粧料の形態や使用する身体部位などに応じて、色素、酸化防止剤、紫外線吸収剤、香料などの従来公知の添加成分を、本発明の効果を損なわない範囲で配合すること\*

\*ができる。

【0013】

【実施例】以下に、本発明の実施例および比較例を示し、本発明をさらに具体的に説明するが、本発明はこれらの実施例に限定されるものではない。

【0014】実施例1～5および比較例1～5

表1に示す成分を常法に従って攪拌・混合することにより、各種マッサージ化粧料を調製した。

【0015】

【表1】

成 分		配 合 量 (重 量 %)									
		実 施 例					比 較 例				
		1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
モノステアリン酸											
POE(20)ソルビタン		1	15	30	10	4	0.5	35	1	5	5
グリセリン		80	40	1	30	20	20	—	88	15	70
流動パラフィン		1	25	15	50	16	55	60	10	—	10
水		17.5	10	20	1	10	20	4	—	25	15
塩化ナトリウム結晶		0.5	10	34	9	50	4.5	1	1	55	—
合 計		100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
効果	血行促進効果	○	○	△	○	○	×	×	×	○	×
	べたつき	○	○	○	△	○	×	×	×	○	○
	洗い流し易さ	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○
	保湿感	△	○	○	○	○	○	○	○	×	○
	保存安定性	○	○	○	○	○	×	○	×	×	○
総 合 評 価		○	○	○	○	○	×	×	×	×	×

【0016】マッサージ化粧料の評価

20～40歳代の健常人10人（男性5人、女性5人）において実施例1～5および比較例1～5のマッサージ化粧料の官能評価を行った。その結果を表1に示す。評価方法は、被験者が腹部にマッサージ化粧料を約10g塗布し、20回ずつマッサージを行った後、温湯で洗い流し、血行促進効果（マッサージ実感）、べたつき、洗い流し易さ、保湿感について官能評価を行った。各項目において、10人中7人以上が良好だと評価した場合を○、10人中5～6人が良好だと評価した場合を△、1

0人中4人以下が良好だと評価した場合を×とした。また、保存安定性については、40℃で1週間放置した後、目視判定により、結晶の沈降、基剤の分離が認められない場合を○、結晶の沈降、基剤の分離が認められる場合を×とした。総合評価については、官能評価・保存安定性に△が1つ以下ある場合を○とし、△が2つ以上または×がある場合を×とした。

【0017】実施例6

以下の成分を常法に従って攪拌・混合することにより、マッサージ化粧料を調製し、チューブに充填した。

配合量(重量%)

成 分

ステアリン酸デカグリセリル

グリセリン

プロピレングリコール

5.0

50.0

2.0

(4)

特開平5-271033

5	
スクワラン	30.0
精製水	3.0
塩化ナトリウム結晶	10.0
合 計	100.0

6

## 【0018】実施例7

\*マッサージ化粧料を調製し、チューブに充填した。

以下の成分を常法に従って攪拌・混合することにより、\*

成 分	配合量(重量%)
ポリオキシエチレン(30)セチルエーテル	3.0
グリセリン	45.0
1,3-ブチレングリコール	5.0
オクタセン酸セチル	20.0
精製水	5.0
$\beta$ -カロチン封入塩化ナトリウム結晶	14.0
塩化ナトリウム結晶	8.0
合 計	100.0

## 【0019】

などの優れた使用感を有し、しかも保存安定性が良好である。

【発明の結果】本発明のマッサージ化粧料は、血行促進効果に加え、べとつきが少なく、洗い流しが容易である